

Medical Innovation by NCGM and Commons

開催レポート：第12回 海外医療機器の最新動向勉強会

2019年12月4日（水）、国立国際医療研究センター大会議室にて、MINCの会「第12回海外医療機器の最新動向勉強会」を開催いたしました。行政機関、病院/関係者、企業、医工連携関係者、55名の参加をいただきました。ご参加の皆さま、ありがとうございました。

■ MINCの会 勉強会について

国立国際医療研究センターと日本医工ものづくりコモンズでは、2017年秋より、海外医療機器情報誌の日本語訳版「Medical Globe」（株式会社カワニシホールディングス発行）から最新の記事の抜粋を資料として、情報共有をおこなう勉強会を定期的に開催しています。

<http://www.kawanishi-md.co.jp/mg/index.asp>



■ 第12回について

- 国立国際医療研究センター（NCGM）を代表して、企画戦略局の井上 肇局長から開会のご挨拶をいただきました。
- 医工連携に関わる行政・公的機関、経済産業省 医療・福祉機器産業室、日本医療研究開発機構（AMED）、東京都産業労働局からご参加をいただき、AMEDからは事業紹介もいただきました。
- 勉強会のディスカッションでは、国立国際医療研究センター（NCGM）副病院長・医工連携推進室長の丸岡 豊 先生（歯科・口腔外科）と東京医科大学の福田 尚司 先生（心臓血管外科）を座長に、また医薬品医療機器総合機構（PMDA）の望月 修一 先生と特許庁 審査第二部医療機器（治療機器）の小野 孝朗様のお二人をコメンテーターとしてお迎えし、議論をおこないました。
- 記事については、福田 尚司先生（東京医科大学 心臓血管外科）、前島 洋平先生（岡山大学 腎・免疫・内分泌代謝内科学）、大石 元先生（産婦人科診療科長）、山本 匠先生（形成外科診療科長）に講師としてご参加いただき、専門医のお立場から症例や国内の現状の説明とともに、海外の最新医療機器についてコメントをいただき、参加者の皆さまとディスカッションをおこないました。
- 今年度はウェブ会議で遠隔地での視聴を試しており、静岡、大阪、神戸からもご参加をいただきました。

ディスカッション記事

- 【心臓血管外科】Ascyrus社のスタンフォードA型大動脈解離用ステントグラフトAMDS
- 【腎臓内科】血液ろ過タイプのポータブル血液浄化装置を日本の研究チームが開発
- 【産婦人科】AblaCare社が開発中の不妊治療用アブレーションデバイスAblaCare
- 【形成外科】Microsure社のマイクロサージャリー用の手術支援ロボットMUSA

記事紹介

- InterVene社の静脈弁形成デバイスBlueLeaf
- Innovative Health社のIBSによる腹痛緩和用の神経刺激装置IB-Stim



勉強会の様子

参加者からの声

- ✓初めての参加です。実際の臨床現場からのコメントを知ることができ、また薬事戦略と知的財産の視点からも勉強できる広カバーできていると興味深かったです。
- ✓2回目の参加ですが、本当にレベルの高い会で感動しております。
- ✓臓器の機能、役割などの基本からご説明ただけて、大変勉強になりました。

◇ 事務局より

今年度最後となります第13回勉強会は、2020年3月4日（水）18時より、国立国際医療研究センター 研修センター棟5階大会議室にて開催いたします。